

民間企業並財務諸表の現在の作業状況等について

平成16年1月29日

阪神高速道路公団

1. 現在の民営化に向けた作業状況

土地については、全線にわたり路線測量を実施中。また、資産の評価方法については、本検討委員会の検討等をうけ、決定されるものと考えているが、決定時において迅速に対応できるよう、現在、土地の権利形態等の精査を行っているところである。

構築物などの償却資産についても、全数調査のための資産区分の精査を実施中。

新組織への移行に伴い、現行の業務フロー・データフローを見直し、企業会計原則に対応した会計処理、民間企業並みスピードでの決算処理、資産データの処理・管理や税務へ対応するため、「新会計情報システム」を構築しているところである。

2.

今後の検討課題

資産の評価基準

(再調達価額、収益還元価額、償却後簿価)

開始貸借対照表

(資産の評価(再掲)、負債の範囲、新会社の設立手法及び資本金の取扱い)

原価計算

(金利の原価算入、補償費の原価算入等)

リース取引の会計処理

(今回の民営化案に照らした会計上の考え方)

減損会計の適用

(対象資産、資産のグルーピングの方法等)

連結会計

耐用年数